

第 39 回（令和 6 年度）
商業経済検定試験問題
〔ビジネス基礎〕

解答上の注意

1. この問題のページは 2 から 15 までです。
2. 解答はすべて別紙解答用紙に記入しなさい。
3. 問題用紙の表紙に受験番号を記入しなさい。
4. 文字または数字で記入するもの以外はすべて記号で答えなさい。
5. 計算用具などの持ち込みはできません。
6. 制限時間は 40 分です。

※ 試験終了後、問題用紙も回収します。

① 次の(1)～(5)に最も関係の深いものを解答群から選びなさい。

- (1) 経済的地位の向上を目的に農林水産業者・消費者などがそれぞれ集まり、協力して設立され、営利を目的とせず相互扶助の精神で事業活動を行う企業。
- (2) 国や地方公共団体の出資によって設立された事業組織で、水道事業や公営交通事業など営利を目的としない公共性の高い事業分野で活動する企業。
- (3) 出資(所有)と経営の分離が可能な組織で、有限責任を負う出資者(株主)と経営を行う機関で構成される現代の代表的な企業。
- (4) 小規模な事業に適し、個人で自由に運営ができる組織で、無限責任を負う一人の経営者が出資と経営を兼ねる企業。
- (5) 国や地方公共団体と、民間が共同で出資することによって設立され、両組織の協力のもとで事業活動が運営される企業。

【解答群】

- ア. 公企業 イ. 公私合同企業 ウ. 個人企業(個人事業主) エ. 株式会社
オ. 協同組合

② 次の(1)～(5)のうち、条件に当てはまるものにはAを、それ以外にはBを記入しなさい。ただし、すべてに同一の記号を記入した場合は5問全部を無効とします。

【条件】 サービス業に属するビジネス

- (1) 仕事や観光で訪れた人々に、宿泊場所を提供するビジネス。
- (2) 工場で素材や部品を加工し組み立てて、製品を製造するビジネス。
- (3) 企業や個人から依頼を受けて、施設や住宅の警備を行うビジネス。
- (4) 田や畑で米や野菜を栽培し、収穫・出荷するビジネス。
- (5) 来店した顧客の注文を受けて調理を行い、料理を提供するビジネス。

③ 次の(1)～(5)の□に当てはまるものを解答群から選びなさい。

経済活動を行う人や組織のことを経済主体といい、次の三つがある。

一つ目は、労働力を提供して得た賃金や資金を提供して受け取る利子などの所得で、商品やサービスを購入し、消費活動を行う経済主体がある。これを□(1)という。

二つ目は、提供された労働力や資金などを活用し、商品やサービスをうみだす生産活動を行う経済主体がある。これを□(2)という。この経済主体は、利益の獲得を目的として活動する。

三つ目は、他の経済主体から徴収した□(3)を主な資金として、教育や福祉・道路の整備といった公共サービスを提供したり、経済活動の調整をはかたりする経済主体がある。これを政府という。この経済主体には、国や地方公共団体がある。

これらの三つの経済主体は相互に結びつき、一つの経済社会を構成する。この経済のしくみを、一つの国を単位としてとらえた場合、□(4)といい、貿易や投資などによって国と国との結びつきも含めて経済をとらえた場合、□(5)という。現在では、一国の経済問題は、多くの国の経済に影響を及ぼす状況になっており、グローバルな視点で考えることが求められるようになってきた。

【解答群】

ア. 税金 イ. 国際経済 ウ. 企業 エ. 家計 オ. 国民経済

④ 次の(1)～(5)について、下線部が正しいときは○を記入し、誤っているときは解答群から正しいものを選び記号で答えなさい。ただし、すべてに○を記入した場合は5問全部を無効とします。

- (1) 経済の発展に伴って産業構造の高度化が進み、第三次産業における売上高や就業者数の占める割合がほかの産業に比べて大きくなる状況をサービス経済化という。
- (2) 利息の計算には2種類の方法があり、そのうち貸し借りされる元金に対してのみ、利息を計算する方法を複利法という。
- (3) 仕入原価が¥200,000の冷蔵庫に、仕入原価の2割5分の利益を見込んで予定売価(定価)をつけると、予定売価は¥225,000になる。(ただし、税については考えないものとする)
- (4) ある期間の日数を計算する場合、例えば令和7年1月13日から1月23日までを両端入れて計算すると11日間になる。
- (5) 外国との売買取引を行う際に、ある国の通貨を別の国の通貨におきかえるために計算することを貨幣の概算という。

【解答群】

ア. 10 イ. 換算 ウ. グローバル化 エ. 単利法 オ. 250,000

⑤ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが、2023年5月から「5類感染症」になり1年以上が過ぎた。職場でも、オンラインのリモートワークから通常勤務へ戻る企業が増え、マナーや敬語といったコミュニケーションが一層見直されてきている。

例えば、(a)取引先で、自社と取引先の担当者同士が行う業務上の打ち合わせでは、いつ、どこで、何をなど、要点を絞ってまとめて伝えるようにすると、コミュニケーションがスムーズになり効率的になる。さらに、初対面の場合の(b)名刺の受け渡しでは、マナーに気をつけ相手への思いやりを忘れない対応をすることが必要である。受け取った相手が不快にならないよう注意すると良い。そして、新商品の販売に関する説明といった具体的で詳細な打ち合わせでは、(c)直接的コミュニケーションをとることで、お互いに疑問に対する応答ができ、内容がはっきりと伝わりやすい。

また、相手を敬い不快にさせないといった意味では、正しい敬語の使い方も重要になる。敬語の中でも、とくに使い方に注意すべきは(d)自分の立場をへりくだって表現する謙譲語である。

最後に、コミュニケーションでは、内容を客観的データにより明確にするため、情報収集も重要になる。近年、(e)I o T技術を活用して大量のデータを収集し、これらのビッグデータを分析することでコミュニケーションに役立つようになってきている。

コミュニケーションは、今後もさまざまなビジネスの場面において重要となるため、高校生の時から身に付けておく必要がある。

問1. 下線部(a)のようなコミュニケーションを何というか、次の中から適切なものを一つ選びなさい。

- ア. フォーマルコミュニケーション
- イ. インフォーマルコミュニケーション
- ウ. 企業内コミュニケーション

問2. 下線部(b)の説明として、次の中から最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 名刺は、訪問された側、もしくは目上側(上位者)から、自分が文字を読める向きで渡し、受け取る際には「ちょうだいします」と言って受け取る。
- イ. 名刺は、訪問した側、もしくは目下側(下位者)から、自分が文字を読める向きで渡し、受け取る際には無言で受け取る。
- ウ. 名刺は、訪問した側、もしくは目下側(下位者)から、相手が文字を読める向きで渡し、受け取る際には「ちょうだいします」と言って受け取る。

問3. 下線部(c)の説明として、次の中から適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 内容を明確に伝えるため、実際に相手と向き合って行うコミュニケーション。
- イ. 内容を正確に伝えるため、文書を介して行うコミュニケーション。
- ウ. 内容を素早く伝えるため、メールを介して行うコミュニケーション。

問4. 下線部(d)の具体例として、次の中から適切なものを一つ選びなさい。

- ア. ご覧になる
- イ. 拝見する
- ウ. 見ます

問5. 本文の主旨から、下線部(e)の説明として、次の中から適切なものを一つ選びなさい。

- ア. エアコンやテレビなどの家電製品に電子回路のチップを付け、ものとインターネットをつなげ、情報を共有する技術。
- イ. 過去の画像や動画を用いるなどして、実際に起きていないことを本物のように偽ったうそのニュースを流し、人をあざむく技術。
- ウ. インターネット上で人と人がつながるための情報の発信や検索、また、ユーザー同士での交流が可能となる技術。

6 次の文章を読み、問いに答えなさい。

流通は、生産と消費の隔たりを埋めるためのものであり、技術革新や時代を反映し発展してきた。ここでは、流通の成立と発展について見てみる。

人々はかつて、(a)生活に必要なものを自ら生産し自ら消費するという、生産と消費が一体となった生活様式で暮らしていた。その後、生産用具や生産方法の改良により自分たちでは消費しきれない余剰生産物が生じ、それを交換しあう(b)物々交換が行われるようになった。このようにして、生産と消費が分かれるようになった。はじめは、そのつど交換する相手を探して行われていたが、お互いに欲しいものをもっている相手を探すのは大変であった。この問題を解決するために、(c)交換の場所としての市^{いち}が発生した。

しかし、物々交換はお互いの欲しいものの種類や数量が一致した場合のみ可能であり、常に交換できるとは限らない。そこで、(d)誰もが欲しいものを交換の道具として用いるようになり、それが貨幣としての性質をもつようになってきた。はじめは、交換の道具として物品貨幣が用いられ、その後、金属貨幣を用いるようになった。

市ができて貨幣が用いられるようになると、はじめから貨幣と交換することを目的に、自分の得意とするものをそれぞれ生産する分業がすすんだ。

やがて、取引が全国的に広がると、生産者と消費者の隔たりを埋めるため、その橋渡しをする問屋(卸売業務)や、(e)生産される時期と消費される時期の隔たりを埋めるため、商品を保管する蔵元(倉庫業務)が登場した。さらに、明治時代には、輸送手段や通信機器の発達により、取引する市場も海外に広がった。

このようなことを背景に、現在では流通が発展し、いつでも、どこでも商品を手に入れることができ、私たちは豊かで便利な生活を過ごすことができるようになったことを忘れずにいたい。

問1. 下線部(a)を何というか、漢字4文字で正しい用語を記入しなさい。

問2. 本文の主旨から、流通の始まりはどこからか、次の中から適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 下線部(b)
- イ. 下線部(c)
- ウ. 下線部(d)

問3. 下線部(e)を何というか、次の中から適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 人的(社会的)隔たり
- イ. 場所的(空間的)隔たり
- ウ. 時間的隔たり

7 次の文章を読み、問いに答えなさい。

数十年にわたり販売されロングセラー商品であった菓子が、販売中止になったというニュースがここ数年相次いだ。

時代とともに消費者のニーズが変化したことが販売中止の原因と考えられるが、その他の原因の一つとして、(a)コンビニエンスストア(以下、コンビニ)の経営上の特徴があげられる。菓子の販売は、主たる拠点が個人商店から総合スーパーやスーパーマーケットに移行し、さらにここ数年では、総合スーパーからコンビニに移行してきている。そのため、菓子の生産者は、全国5万店を超すコンビニへの商品販売を強化するようになった。

ところがコンビニでは、競合店との差別化や収益性の面から、小売業者が企画開発して生産者に製造を委託するプライベートブランド商品(以下、PB商品)の取り扱い割合を拡大してきた。その結果、小規模な店舗で陳列する場所に限りがあるといった特徴をもったコンビニの商品棚から(b)生産者が開発から製造までを行い生産者のブランドで販売する商品が少数の人気商品のみ絞られ、その他の商品は撤退を余儀なくされてきている。もし、このままPB商品の取り扱い割合が高まっていくと、以前から食べていたお気に入りの商品が売り場から減り、消費者の選択の自由が狭められてしまい、コンビニの魅力の半減にもつながりかねない。

今後、たくさんの種類から好きな菓子を自由に選べる多様性と、低価格のわりに高品質なPB商品の割合を拡大していくこととのバランスをどう取るか、生産者と小売業者の双方の課題となる。

問1. 下線部(a)の特徴は何か、次の中から適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 医薬品や健康用品、美容用品を中心に幅広い品ぞろえで、低価格で販売する。
- イ. 顧客の利便性を考え、長時間営業で食料品や日用雑貨を中心に販売する。
- ウ. 日曜大工用品や園芸用品から日用雑貨などの生活関連用品を販売し、広い駐車場をもつ。

問2. 本文の主旨から、下線部(b)を何というか、正しい用語を完成させなさい。

8 次の文章を読み、問いに答えなさい。

近接した複数の小売店舗の集まりを商業集積といい、大きく二つに分類することができる。

一つは、(a)駅前のような人通りが多いところに自然発生的に集まり、生活必需品の品ぞろえを中心として地域に根ざした経営をしている商業集積である。このような商業集積には、大阪府大阪市にある、南北2.6kmにわたるアーケードをもち600を超す店舗が加入して、にぎわいを見せているようなものもある。しかし、近年では後継者不足や経営効率が悪化するなどの課題を抱えているところが多くなってきている。

もう一つは、ショッピングセンターであり、(b)大手の不動産会社のような開発業者が、計画的に建設・運営する商業集積である。例えば、埼玉県越谷市にある商業集積では、約24万5千㎡の敷地に約700を超す店舗が出店して、1万台を超える駐車場をもつ。

どちらも、(c)商業集積としての利点をもつ。消費者にとっては、一カ所でいろいろな買い物ができるため便利であり、小売店にとっては、集積することによって品ぞろえやサービスなど互いの店舗の不足する部分を補いあえて効率的である。

今後も、消費者にとって魅力的で楽しくなるような商業集積の変化・発展を見守っていきたい。

問1. 下線部(a)を何というか、漢字3文字で正しい用語を記入しなさい。

問2. 本文の主旨から、下線部(b)を何というか、次の中から適切なものを一つ選びなさい。

ア. フランチャイジー イ. デイベロッパ ウ. テナント

問3. 本文の主旨から、下線部(c)の内容として、次の中から最も適切なものを一つ選びなさい。

ア. 加入するための費用が必要なく、比較的少ない資金で開業することができ、容易にビジネスをはじめやすい。

イ. 店主の思いどおりの経営ができ、店主の力量によって品ぞろえや価格の設定が自由にでき、自店の魅力でのみ顧客を引き付けることができる。

ウ. 加入している多くの店舗がそれぞれに魅力ある工夫をするため、集客性に優れており、顧客が集まりやすい。

9 次の文章を読み、問いに答えなさい。

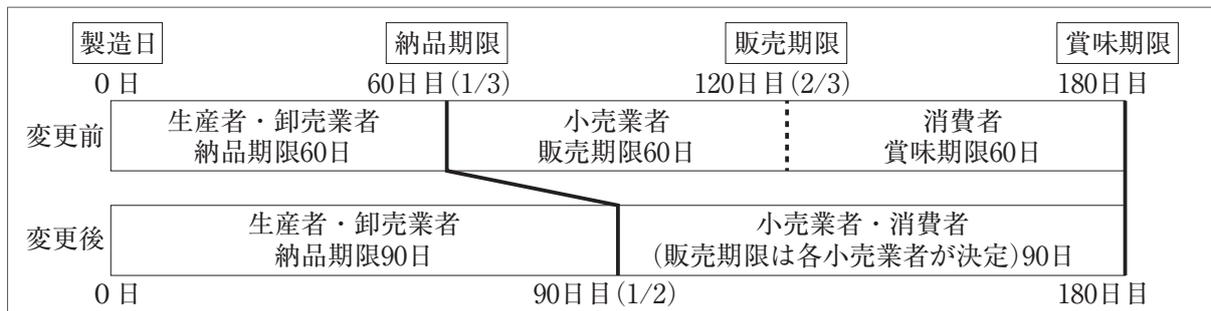
2024年4月以降、トラックドライバーの時間外労働時間の上限が年960時間に制限されることにより、貨物輸送量の減少が懸念される物流の2024年問題が起こった。

そもそも、(a)トラックによる自動車輸送は、宅配便の発達やインターネット通販の進展により年々その需要を増加させてきたが、ドライバー不足と今回の法規制が重なり、深刻な課題となっていた。

さまざまな打開策の一つとして、首都圏を地盤とするスーパーマーケット4社が、生産者や卸売業者(以下、生産者等)と共同して物流の効率化に取り組み始めた。具体的には、生産者等から小売業者であるスーパーマーケットへの商品の納品期限を緩和したのである。これまで下図のように、3分の1ルールと呼ばれる商慣習があり、生産者等から小売業者への商品の納品期限が、賞味期限の3分の1以内とされていた。その期間を、賞味期限が180日以上ある加工食品の場合、4社のスーパーマーケットが生産者等に対して、納品期限を2分の1以内へと変更した。スーパーマーケット4社の売り切る自信と覚悟によって、賞味期限が120日以上残っていなければならなかった納品期限が90日以上残っている商品まで生産者等は納品可能となった。この緩和によって、トラックによる自動車輸送をはじめ貨物輸送にゆとりができ物流の効率化が図られた。このように、さまざまな形で(b)サプライ・チェーン・マネジメントをすすめることで2024年問題に対応してきている。

今後も、労働環境の改善と貨物輸送の合理化のような社会的課題を、それぞれの企業が力を合わせて解決していくことが重要となる。

スーパーマーケットによる商品納入期限の改革の一例



問1. 下線部(a)の特長は何か、次の中から最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 機動性に優れ、戸口から戸口への小口輸送が可能である。
- イ. 大量輸送に優れ、国内外への大規模な輸送が可能である。
- ウ. 高速輸送に優れ、海外との輸出入輸送が可能である。

問2. 下線部(b)の説明として、次の中から最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 輸送機器への貨物の積み込みや荷下ろし、倉庫への保管などの機能を全体としてまとめて管理する考え方。
- イ. 大規模小売業者が、物流機能をもち輸送や保管を自社で行うことで、仕入価格の引き下げや経営の効率化を図る考え方。
- ウ. 物流業者だけでなく、生産者や小売業者も含めて一貫して最適な商品流通の管理を行うという考え方。

10 次の文章を読み、問いに答えなさい。

2024年7月、紙幣のデザインが20年ぶりに刷新され発行された。紙幣は金属貨幣(以下、貨幣)とともに、買い物や日常のさまざまな場面で支払手段として用いられている。

わが国では(a)紙幣の発行機関と貨幣の発行機関は異なる。また、紙幣および貨幣は、すべての支払いに対して強制的な通用力をもつが、(b)貨幣には一定の使用制限を設けている。そしてこれらの紙幣および貨幣は、一般に現金通貨または通貨と呼ばれている。

企業と消費者の取引では、これまでに現金通貨・小切手・銀行振込・(c)クレジットカードによる決済などが利用されてきた。また、現在はパソコンやスマートフォンのような情報通信機器の急速な進歩によって新たな代金決済手段も普及している。具体的には、電子マネーやQRコード・バーコードによるコード決済があげられる。これらの決済手段はさまざまな機能やしくみをもつが、共通するのは現金通貨を扱わないことを特徴とし、キャッシュレス決済や電子決済サービスなどと呼ばれている。

経済産業省は、2023年に個人消費全体に占めるキャッシュレス決済比率が39.3%であることをWebページで公表した。前年よりも3.3ポイント上昇し、「2025年までにキャッシュレス決済比率を4割程度」とする政府の目標まであと一歩に迫った。企業間の取引においても、これまで代金の決済手段として利用してきた「紙」の手形の代わりとして、(d)国から認可を受けた機関によってコンピュータ上で管理され、紛失や盗難の危険が低減される新たな決済手段を利用するサービスに移行しつつある。

人手不足が深刻化している中で、代金決済手段の電子化は社会全体での業務効率化・コスト削減・生産性向上などさまざまな経済効果をうみだすことが期待されている。

問1. 下線部(a)はどこか、次の中から正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 政府 イ. 日本銀行 ウ. 証券取引所

問2. 下線部(b)の説明として、次の中から適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 貨幣の法定通用限度は額面金額の20倍までである。
イ. 貨幣の法定通用限度は額面金額の30倍までである。
ウ. 貨幣の法定通用限度は額面金額の50倍までである。

問3. 下線部(c)の説明として、次の中から適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 代金前払い方式で、事前にカードにお金をチャージし、買い物の際に利用者が店頭で設置してある専用の決済端末にカードをかざすとチャージ残高から利用代金が差し引かれる。
イ. 代金後払い方式で、買い物の際に利用者がカードを提示し、カード会社が立て替え払いをした後、支払期日にカード名義人の預金口座から利用代金が引き落とされる。
ウ. 代金即時払い方式で、買い物の際に利用者がカードを提示し、即座に利用者の預金口座から利用代金が引き落とされる。

問4. 下線部(d)の具体例として、次の中から適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 収入印紙 イ. 約束手形 ウ. 電子記録債権

11 次の文章を読み、問いに答えなさい。

A社は、岡山県に本社をもつ教育や生活関連のサービスを提供する企業である。A社の経営者は、香川県にある直島の自然に着目し、地域振興に取り組むことを決めた。

1992年、A社はホテルと美術館を一体化した施設をオープンし、現代アートの作品展示を行った。しかし、当時は島の住民の現代アートへの関心は高くなかった。そこでA社は、島内のほぼ全域を使った企画展を開催した。1998年、A社は島の住民の協力を得て、古民家を改修してアート作品を作り出す「家プロジェクト」と呼ばれる活動を行った。そして企業・アーティスト・住民が一体となって直島がもつ独自の魅力を掘り起こし、地域をあげてのまちづくりへと展開した。こうした活動が(a)地域ブランディング(地域ブランドの構築)として実を結び、やがて直島は「現代アートの聖地」と呼ばれるようになった。国内のみならず海外からも観光に訪れる人が増え、移住を希望する人も後を絶たない。現代アートの作品展示や制作をきっかけに、これまで当たり前と思われていた日常風景があらためて見直され、島がもつ自然や歴史の価値に人々が気付き始めたのである。

一方、直島町としても、企業や住民の意見をもとにさまざまな取り組みを行っている。(b)直島町では移住を希望する人に空き家情報を提供し、交通機関の整備や企業誘致・地場産業育成による雇用創出によって地域の活性化をめざした。

A社の取り組みに見られるように、こんにちの企業には、単にものの販売やサービスの提供にとどまらず、その地域に暮らす住民に積極的に関わり、地域が抱える課題をビジネスの考え方によって解決しようとする活動に取り組むことが期待されている。

問1. 下線部(a)の具体例として、次の中から最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 地域の人口を増加させるために、若者向けの交流イベントを開催した。
- イ. 日常の買い物で移動手段をもたない地域住民のために、移動販売サービスを始めた。
- ウ. 地元の魅力を内外へ伝えるために、産地名と商品名がついた地元産の天日塩を宣伝した。

問2. 下線部(b)のような取り組みを何というか、次の中から適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 地方創生
- イ. 地産地消
- ウ. 六次産業化

12 次の文章を読み、問いに答えなさい。

わが国の憲法では、納税は国民の義務であると定めている。納税の義務を負うのは個人だけに限らず経済活動を行う企業も含まれる。ここでは企業活動に対する税について見てみる。

まず、(a)企業が納める税のうち一事業年度における事業活動で得た利益に対して課される国税があげられる。この税は納税の義務を負う企業が負担し、国へ納める。

次に、一定規模以上の事業者に対して(b)ものの販売やサービスの提供に対して課せられる税があげられる。この税は国税と地方税に分類され、製造業者から卸売業者、卸売業者から小売業者、小売業者から消費者へのすべての取引で課税される。最終的には価格に上乗せされた金額を消費者が負担するが、納税するのは各事業者である。

これらの税を納める方法に(c)申告納税方式と賦課課税方式がある。わが国では申告納税方式を原則として、課税所得および税額を確定するための申告を納税義務者が行う。

税は公共サービスを提供する源泉である。私たちは、企業活動に対する税の種類やしくみとともに、税が果たす役割についても正しく理解する必要がある。

問1. 下線部(a)を何というか、漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問2. 下線部(b)を何というか、次の中から適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 固定資産税 イ. 自動車税 ウ. 消費税

問3. 下線部(c)の説明として、次の中から適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 企業が従業員に支払う給与から税金を預かり、従業員に代わって納める方式のこと。
イ. 納税者が課税期間の税額を自ら計算し、申告して納める方式のこと。
ウ. 地方公共団体が課税額などを納税者に通知し、その通知に従って納める方式のこと。

13 次の一連の文章〔Ⅰ〕・〔Ⅱ〕を読み、それぞれの問いに答えなさい。

〔Ⅰ〕スポーツジムとスイミングクラブを運営しているムーンライトジム株式会社（以下、ムーンライトジム）は、利用客の増加に伴い更衣室の脱水機を2台追加購入することに決定した。購入する業者をどこにするか検討した結果、取引実績のある2社の中から1社を選定することにした。

以下は、ムーンライトジムが脱水機を購入する業者を選定し、売買契約を締結するまでの事例を示したものである。

令和6年11月5日 ムーンライトジムは、購入する脱水機の仕様を、ステンレスボディ直接排水型とした。そこで、(a)商品の内容や取引条件を示し価格を問い合わせる書類を作成して、この書類をセルコー株式会社(以下、セルコー)と株式会社創辺工業(以下、創辺工業)の2社に送付した。

11月11日 ムーンライトジムは、創辺工業より下記の見積書を受け取った。

| | | | | | |
|--|------------|------|-------|----------|------------------|
| No.1008 | | | | | |
| 見 積 書 | | | | | |
| 令和6年 11月 8日 | | | | | |
| (住所省略) | | | | | |
| ムーンライトジム株式会社 御中 | | | | | |
| (住所省略) | | | | | |
| 株式会社創辺工業 印 | | | | | |
| 下記のとおりお見積もり申し上げますので、なにとぞご用命くださるようお願いいたします。 | | | | | |
| 納入期日 | 令和6年12月10日 | 運送方法 | トラック便 | 支払 条件 | 着荷後7日以内 小切手払い |
| 納入場所 | 買い手店頭 | 運賃諸掛 | 売り手負担 | | |
| 品 名 | | | 数 量 | 単 価(税込) | 金 額(税込) |
| 脱水機HS-7(ステンレスボディ直接排水型) | | | 2 | 583,000 | 1,166,000 |
| 以 下 余 白 | | | | | |
| 合 計 | | | | | ¥1,166,000 |
| 見積有効期限 令和6年12月6日 | | | | | |
| 係印 | | 印 | 印 | | |

11月13日 セルコーからも見積書が届いた。ムーンライトジムは、2社から届いた見積書を比較・検討した結果、創辺工業から購入することを決定した。その後、創辺工業に(b)購入することを売り手に伝える書類を作成して送付した。

11月15日 ムーンライトジムは、創辺工業より購入の意思を確認し承諾したことを伝える書類を受け取った。

問1. 下線部(a)を何というか、次の中から正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 請求書 イ. 見積依頼書 ウ. 納品書

問2. 見積書の内容から、創辺工業がムーンライトジムに提示した取引条件について、次の中から適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 商品の引き渡しは創辺工業店頭で、運賃諸掛はムーンライトジムが負担し、代金は小切手で支払う条件である。
イ. 商品の引き渡しはムーンライトジム店頭で、運賃諸掛は創辺工業が負担し、代金は現金で支払う条件である。
ウ. 商品の引き渡しはムーンライトジム店頭で、運賃諸掛は創辺工業が負担し、代金は小切手で支払う条件である。

問3. 下線部(b)を何というか、漢字3文字で正しい用語を記入しなさい。

文章〔Ⅱ〕とそれに関する問いは、次のページにあります。

〔Ⅱ〕ムーンライトジムは、令和6年11月に売買契約の締結をすでに済ませている。後日、脱水機が届けられることになった。

以下は、ムーンライトジムに脱水機が届けられ、代金を支払うまでの売買契約が履行された事例を示したものである。

令和6年12月10日 本日、創辺工業より脱水機が届けられ据え付けられた。ムーンライトジムは、届けられた商品に間違いがないことを契約書類の控えと照合しながら確認し、また破損がないか現物を点検した。その後、物品受領書に押印して創辺工業に郵送した。

12月12日 ムーンライトジムは、振り出す予定の(c)小切手が預金残高不足のため支払いが拒絶されることのないように、口座の預金残高を取引銀行に確認した。

12月13日 ムーンライトジムは、支払い条件のとおり、小切手用紙に必要事項を記入し、(d)代金の支払いとして下記の小切手を振り出した。

| | | | | |
|------------|------------|---|------------|--------------|
| AS0010 | | 小 切 手 | | 銀行番号 (省略) |
| 令和6年12月13日 | | 支払地 (住所省略) | | |
| 金額 | ¥1,166,000 | 株式会社 | 相州銀行 町田支店 | |
| 渡先 | ① | 金額 ¥1,166,000 ※ | | |
| 摘要 | 脱水機購入 | 上記の金額をこの小切手と引き替えに持参人へお支払いください 拒絶証書不要 | | |
| 残高 | (省略) | 振出日 令和6年12月13日 | (住所代表者名省略) | |
| | | 振出地 (省略) | 振出人 | ② |

12月17日 創辺工業に振り出した小切手が取引銀行で処理され、ムーンライトジムの銀行口座から脱水機の代金が引き落とされた。

〈資 料〉

| 会 社 名 | 取 引 銀 行 |
|--------------|---------------|
| ムーンライトジム株式会社 | 株式会社相州銀行町田支店 |
| 株式会社創辺工業 | 株式会社みやこ銀行横浜支店 |

問4. 下線部(c)を何というか, 次の中から正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 裏書き イ. 不渡り ウ. 割引き

問5. 下線部(d)の利点として, 次の中から適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 振出人が売掛金のある得意先に対して, 代金の支払いを委託することができる。
イ. 多額の現金を持ち運ぶ必要がなく, 紙幣の数え間違いも防ぐことができる。
ウ. 代金を支払うまでに一定の期間があり, その間に資金を用意することができる。

問6. 本文の主旨から, 〈資料〉を参照し, 小切手の□①と□②に入るものの組み合わせとして, 次の中から正しいものを一つ選びなさい。

- ア. ①株式会社創辺工業 ②ムーンライトジム株式会社
イ. ①ムーンライトジム株式会社 ②株式会社創辺工業
ウ. ①株式会社創辺工業 ②株式会社みやこ銀行横浜支店

ビジネス基礎解答用紙

| | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) |
| 1 | | | | | |

| | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) |
| 2 | | | | | |

| | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) |
| 3 | | | | | |

| | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) |
| 4 | | | | | |

(2 は、すべてに同一の記号を記入した場合は5問全部を無効とします。)

4 は、すべてに○を記入した場合は5問全部を無効とします。

1~4 小計

得点

| |
|--|
| |
|--|

| | | | | | |
|---|----|----|----|----|----|
| | 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 |
| 5 | | | | | |

| | | | | | |
|---|----|--|--|----|----|
| | 問1 | | | 問2 | 問3 |
| 6 | | | | | |

| |
|--|
| |
|--|

| | | |
|---|----|----|
| | 問1 | 問2 |
| 7 | | |
| | 商品 | |

| |
|--|
| |
|--|

| | | | |
|---|----|----|----|
| | 問1 | 問2 | 問3 |
| 8 | | | |

| | | |
|---|----|----|
| | 問1 | 問2 |
| 9 | | |

| |
|--|
| |
|--|

| | | | | |
|----|----|----|----|----|
| | 問1 | 問2 | 問3 | 問4 |
| 10 | | | | |

| | | |
|----|----|----|
| | 問1 | 問2 |
| 11 | | |

| |
|--|
| |
|--|

| | | | |
|----|----|----|----|
| | 問1 | 問2 | 問3 |
| 12 | | | 税 |

| |
|--|
| |
|--|

| | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 | 問6 |
| 13 | | | | | | |

| |
|--|
| |
|--|

| | | | |
|------|--|------|--|
| 受験場校 | | 受験番号 | |
|------|--|------|--|

| | |
|-----|--|
| 総得点 | |
|-----|--|

ビジネス基礎模範解答

(各2点)

()内は別解である。

| | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) |
| 1 | オ | ア | エ | ウ | イ |

| | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) |
| 2 | A | B | A | B | A |

| | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) |
| 3 | エ | ウ | ア | オ | イ |

| | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) |
| 4 | ○ | エ | オ | ○ | イ |

得点

(2 は、すべてに同一の記号を記入した場合は5問全部を無効としてください。
 (4 は、すべてに○を記入した場合は5問全部を無効としてください。)

1~4 小計

40

| | | | | | |
|---|----|----|----|----|----|
| | 問1 | 問2 | 問3 | 問4 | 問5 |
| 5 | ア | ウ | ア | イ | ア |

| | | | | | | |
|---|----|---|---|----|----|---|
| | 問1 | | | 問2 | 問3 | |
| 6 | 自 | 給 | 自 | 足 | ア | ウ |

16

| | | | |
|---|----|-------------------------|--|
| | 問1 | 問2 | |
| 7 | イ | ナショナル(・)ブランド (NB) 商品 | |

4

| | | | | | |
|---|----|---|---|----|----|
| | 問1 | | | 問2 | 問3 |
| 8 | 商 | 店 | 街 | イ | ウ |

| | | |
|---|----|----|
| | 問1 | 問2 |
| 9 | ア | ウ |

10

| | | | | |
|----|----|----|----|----|
| | 問1 | 問2 | 問3 | 問4 |
| 10 | イ | ア | イ | ウ |

| | | |
|----|----|----|
| | 問1 | 問2 |
| 11 | ウ | ア |

12

| | | | | | |
|----|----|---|---|----|----|
| | 問1 | | | 問2 | 問3 |
| 12 | 法 | 人 | 税 | ウ | イ |

6

| | | | | | | | | |
|----|----|----|----|---|----|----|----|---|
| | 問1 | 問2 | 問3 | | 問4 | 問5 | 問6 | |
| 13 | イ | ウ | 注 | 文 | 書 | イ | イ | ア |

12

| | |
|-------------|-----|
| 総 得 点 | 100 |
|-------------|-----|